

組織力向上委員会 事業計画

副理事長 山西 正宣

組織力向上委員会 委員長 笠井 基司

1 我々の住む小豆島は、少子高齢化による人口減少社会をむかえる一方で、移住者の増加
2 や外国人観光客の増加など、かつてない複雑な転換期を迎えています。環境が変化し、個
3 人の価値観も多様化していく中で、企業や組織がその目的を果たし、永続していくための
4 変化が必要になります。さらに加速が予想される変化の激しい時代において、組織として
5 向かうべき目的を見定め、組織の一員である個々の能力が発揮できる組織環境が必要です。

6 まずは、それぞれの立場において目指すべき明確なビジョンとゴールを描ける青年経済
7 人となるために、ビジネスモデルや働き方など複雑で急速に変化していく社会環境につい
8 て学び、個々の見識、感性、判断力を高めます。そして、人の心を動かし、組織を動かし、
9 地域を動かせる人財となるために、コミュニケーション能力やプレゼンテーション能力の
10 スキルアップ研修を行い、達成すべきビジョンやプロジェクトを波及させていくリーダー
11 としての資質を向上させます。さらに、超・情報化時代によって、個人の挑戦可能な領
12 域が大きく広がった今、自社へ多くのチャンスと発展の機会をもたらすために、個人と組
13 織のエンゲージメント力を高める手法を学び、個人と組織の成長が相乗効果を生む、生産
14 性の高い組織構築につなげていきます。また、公益社団法人小豆島青年会議所（以下、小
15 豆島 J C）を次世代へ紡いでいくために、シニア会との連携をはかり、48年間の歴史を
16 学ぶとともに、親睦を深めます。そして、小豆島 J C の存在感をさらに高めていくために、
17 ホームページや SNS を活用した情報発信を行い、より多くの人に活動の意義を伝えます。

18 そして、私たちは、どんなに時代が変化しようとも、信念をもって突き進む勇気と組織
19 に好循環を生み出せる高い資質をもった青年経済人の集合体となり、地域社会での小豆島
20 J C の存在価値を高めると共に、明るい豊かな小豆島の実現を可能にする組織となります。

21 <事業計画>

- 22 1. 公式訪問例会の実施（4月）
- 23 2. 研修事業の実施（9月、11月）
- 24 3. シニア会との連携事業
- 25 4. 例会の設営（5月、10月、12月）
- 26 5. 総会の設営（1月、8月）
- 27 6. 情報発信（通年）
- 28 7. その他